

日本臨床検査学教育協議会  
令和8年度 第1回理事会 議事録

開催日：令和8年5月11日(月) 13時～14時35分

場 所：Zoomによるオンライン

構成員数：理事20名、監事2名

出席者数：理事20名、監事2名

出席理事：坂本秀生(理事長)、三善英知、山藤 賢、關谷暁子、高崎昭彦、小野川 傑、高木清司、杉本恵子、大瀧博文、中前雅美、宮本 綾、石岡聡子、野島順三、石井直仁、多田達史、吉田祥子、山口 聡、勝田 仁、富山智香子、吉田 繁

出席監事：伊藤昭三、原田典明

次 第

報 告 事 項

- 1) 第20回日本臨床検査学教育学会学術大会
- 2) 臨地実習指針2026
- 3) 臨地実習啓発ポスター
- 4) 各種委員会報告
- 5) 臨地実習施設検索システム
- 6) 医歯薬出版国試対策問題集
- 7) その他

議 案 審 議

- 第一号議案 令和7年度事業経過
- 第二号議案 令和7年度収支決算
- 第三号議案 令和7年度監査
- 第四号議案 令和8年度事業計画
- 第五号議案 令和8年度予算
- 第六号議案 校名変更
- 第七号議案 委員会委員の追加
- 第八号議案 機関誌投稿規定
- 第九号議案 共催依頼
- 第十号議案 令和9-10年度役員選考委員会
- その他の議案

## 報告事項

### 1) 第20回日本臨床検査学教育学会学術大会 報告：勝田理事

学術大会の準備状況として以下の報告があった。

テーマ 臨床検査学 次の20年へ！ -目指す未来、実現への課題-

ホームページ <https://jamte20.nksconv.com/index.html>

会期 2026年8月27日(木)・28日(金)

会場 九州大学医学部保健学科(九州大学医学部百年講堂・同窓会館)  
〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1番1号

大会長 勝田 仁(九州大学大学院 医学研究院 保健学部門 検査技術科学分野 教授)

副大会長 石井直仁(北里大学 医療衛生学部 医療検査学科 臨床化学研究室 教授)

実行委員長 重藤寛史(九州大学大学院 医学研究院 保健学部門 検査技術科学分野 教授)

担当校 九州大学医学部保健学科

大会事務局 九州大学医学部保健学科内

〒812-8582 福岡県福岡市東区馬出3丁目1番1号

運営事務局 株式会社西日本企画サービス 事業部

〒839-0809 福岡県久留米市東合川3丁目10番36号

TEL : 0942-44-5800 FAX : 0942-44-6655

E-mail : jamte20@nksnet.co.jp

---

### 2) 臨地実習指針2026 報告：坂本理事長

臨地実習ガイドライン2021を改定し、[日本臨床衛生検査技師会\(日臨技\)ホームページで公開](#)されており、以下の説明動画の公開(本会会員校専用ページでも公開)について報告があった。

#### 1. [臨地実習の質保証と臨床検査技師教育の将来像](#)

日本臨床衛生検査技師会 代表理事 会長 横地常広

2. [養成施設からみた臨地実習評価の標準化の意義](#)

日本臨床検査学教育協議会 理事長 坂本秀生

3. [「臨地実習指針2026\(改訂版\)」への具体的な変更点と運用方法](#)

令和6・7年度 臨地実習指導者ガイドライン改定WG 副委員長

日本臨床衛生検査技師会 執行理事 桑原喜久男

---

### 3) 臨地実習啓発ポスター：坂本理事長

臨地実習施設にて患者様から臨地実習生のご理解を頂けるよう、実習生受入れ啓発ポスターを作成し、[本会ホームページのお知らせ欄](#)にて、ダウンロード可能として公開中であること。臨地実習指導者が在籍される臨地実習施設へ、A2サイズで10枚づつを令和8年3月中旬までに送付済みであることが報告された。

---

### 4) 臨地実習施設検索システム：坂本理事長

臨地実習施設検索システムについて、以下の説明があった。

1. 各校が依頼する臨地実習施設にて実習可能な項目を、[臨地実習施設検索システム](#)へ学校毎に入力。
2. このシステムへ各校の入力が完了すれば、臨地実習施設の検索が可能になり、学校側が依頼希望したい臨地実習施設、実習可能項目の検索が可能となる。
3. 学校側は検索結果を元に臨地実習施設へ問い合わせ、受入可能人数・時期等を確認。

---

### 5) 各種委員会報告

調査研究委員会 報告：杉本理事

令和8年度活動計画

令和7年度進路状況・令和8年度入学調査の実施予定

---

国家試験対策委員会 報告：大瀧理事

## 令和 8 年度活動計画

1. 模擬試験進捗状況：問題作成者決定後の依頼確認、ならびに問題作成中。
2. 6月上旬に模擬試験受注案内
3. 模擬試験価格(昨年と同様)：問題1セット(A,B)「本体1,600円＋税160円 合計1,760円」
4. 国家試験対策委員で担当分野を割り振り、問題を校正する。  
模擬試験作成今後の予定  
～6/12：問題作成  
～7/31：委員による校正完了  
～9月下旬：印刷完了、発送  
模擬試験発注などの予定  
6月初めまで：模擬試験受注案内  
6月下旬頃まで：受注についての各校からの回答  
10月下旬ごろ：模擬試験代金支払い
5. 国家試験対策委員会の委員12名の決定

---

## 地区部会委員会 報告：石岡理事

### 令和7年度 活動報告

#### 九州・沖縄部会総会

日時：令和7年11月28日(金)

場所：沖縄県立博物館・美術館 美術館講座室

内容：大学院教育のニーズと体制、臨地実習の評価・課題について対面で実施した。

### 令和8年度 活動計画

#### 近畿・中国・四国部会総会・研修会

日時：令和8年6月14日(日)

開催方法：Zoomによるオンライン

テーマ：障がいのある学生の臨地実習について

1. 合理的配慮が必要な学生への教育的対応  
信州大学教育学部 教授 高橋知音先生
2. 臨地実習ガイドライン改訂に伴う学生支援体制構築の試み  
日本医科大学多摩永山病院中央検査室 興石大地先生

---

## 国際協力委員会 報告：石井理事

### 令和7年度 活動報告

Learning Lab for Laboratory Medicine の日本語訳確認作業の継続

### 令和8年度 活動計画

1. Learning Lab for Laboratory Medicine の翻訳確認作業(18テーマ)継続のため、本委員会から会員校の先生方へ協力依頼
2. 国外学会の案内

---

## 広報委員会 報告：關谷理事

### [本会のホームページ](#)のリニューアル

1. 従来の会員校向け情報に加え、一般の方々に臨床検査技師や、臨床検査技師養成校での教育内容を広く知って頂く内容に更新。卒前教育やオープンキャンパス等で活用いただければ幸いである。
2. 「コラム/エッセイ」への寄稿を随時受け付けているのでご協力をお願いしたい。

---

## 編集委員会 報告：多田理事

1. 「臨床検査学教育」18巻1号(令和8年3月1日発刊)  
第19回日本臨床検査学教育学会学術大会特集)
2. 「臨床検査教育」18巻2号(令和8年9月1日発刊予定)

研修委員会 報告：山口理事

令和7年度活動報告

1. 教員研修会 令和7年9月25日  
「高校生の現状と臨床検査分野に導くために」  
進研アド 枝廣玲志様
2. 教員研修会 令和8年3月18日  
「認知症領域の教育の現状と検査の展望」  
純真学園大学 片山雅史先生  
鳥取大学 河月稔先生

令和8年度活動計画

1. 委員会の適宜実施（テーマおよび講師の選定などの企画）
2. 教員研修会の実施（研修会の運営） 9月中旬、3月中旬の年2回実施を計画

---

学会運営委員会 報告：勝田理事

今後の教育学会学術大会の担当予定校

- 第21回 北里大学
- 第22回 東北大学
- 第23回 四日市看護医療大学

---

学術委員会 報告：富山理事

令和7年度活動報告（R7.11.30～）

- (1) 第3回学術委員会の開催（12月23日 オンライン）  
「臨地実習前技能修得到達度評価」のスリム化案の承認及び今後の対応について  
スリム化案は一部修正のうえ了承され、欠席委員へはメール回覧にて確認を行った。  
併せて具体的な審査基準項目の作成を各分科会へ依頼することを決定した。
- (2) 令和7年度分科会副会長変更（R7.12.9～）
- (3) 令和7年度「臨地実習前技能修得到達度評価」実施に関するアンケート調査（R8.3月実施）  
正会員校を対象にアンケートを実施し、結果については別添資料参照

令和8年度活動予定

- (1) 令和8年度学術会員名簿作成
- (2) 令和8年度科目別分科会開催（令和8年8月27日予定 於：九州大学）
- (3) 令和8年度分科会会長・副会長名簿作成
- (4) 「臨地実習前技能修得到達度評価」に関する審査項目作成の継続  
・スリム化後の評価内容に対応した、より具体的な審査項目の整備を進める。

---

5) 医歯薬出版国試対策問題集 報告：坂本理事長

■概要

書名：臨床検査技師国家試験問題集 2027年版  
オンラインテスト／第68-72回国試問題・マークシート PDF付  
編集：一般社団法人日本臨床検査学教育協議会、体裁：B5判、総頁数696頁  
読者対象：臨床検査技師国家試験受験者、定価：9,350円（本体価格8,500円＋税10%）  
発行日：2026年5月25日（出来予定：2026年5月20日）、発行：医歯薬出版株式会社  
刷り部数：1,700部

■著作権使用料

本体価格×実売部数×10%（5%を日本臨床検査学協議会、5%を執筆者14名で頁按分）

6) その他

なし

## 議案審議

### 第一号議案 令和7年度事業経過報告

小野川常務理事より、以下の令和7年度事業経過報告と説明があり、審議後に承認された。

#### 令和7年度（2025年度）事業経過報告

文部科学省、厚生労働省、日本臨床衛生検査技師会をはじめとする関連学術団体、臨床検査業関連との連絡・協議を行った。

改正された臨床検査技師学校養成所指定規則に則り、日本臨床衛生検査技師会と合同で臨地実習指導者育成にむけた臨地実習指導者育成協議会への参加、ならびに実習指導者講習会の運用を昨年度に引き続き継続した。

さらに日本臨床検査学教育学会、編集委員会、研修委員会、学術委員会、国家試験問題検討委員会などの活動を通じて、臨床検査学の啓発と教育問題に関する調査研究を行った。

新規事業として当会ホームページのリニューアル、臨地実習啓発ポスターを印刷し、臨地実習施設へ送付した点があげられる。

#### 令和7年

5月12日：第1回理事会：Zoom会議

5月26日：令和7年度定時総会：Zoom会議、

8月4日：第2回理事会：Zoom会議

8月21日：日本臨床検査学教育学会評議員会：対面（Zoom併用）

9月25日：教員研修会：Zoom

12月1日：第3回理事会：Zoom会議

12月15日：令和7年度臨時総会：Zoom会議

#### 令和8年

3月18日：教員研修会：Zoom

#### （その他）

- ・令和8年3月末時点で加盟校数104校（議決権をもつ加盟校数）
- ・ホームページへの情報掲載：エッセイなど新しい企画を始めた。
- ・臨地実習指導者講習会の受講状況：当会からの講習会費補助は終了。今後は開催経費分担のみ。
- ・臨地実習施設検索システムの運用開始（現在臨地実習生はいないが受け入れ希望のある施設からの登録もあった）
- ・臨床検査技師臨地実習に関する啓発ポスターの製作、印刷（14,000部）、発送（1,295施設へ10枚ずつ）

第二号議案 令和7年度収支決算報告

小野川常務理事より、以下の令和7年度収支決算報告と説明があり、審議後に承認された。

令和7年度 収 支 計 算 書

自 令和7年4月1日 至 令和8年3月31日

(単位 円)

勘 定 科 目	R7年度予算額	R7年度決算額	差 引	備 考
I. 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
一般会費収入	7,580,000	7,510,000	-70,000	会員校104校、賛助会員3社、1校未納
雑収入	1,500,000	1,319,169	-180,831	印税、看護協会Will手数料他
学術学会関連収入	4,800,000	5,576,515	776,515	参加費、寄付金、広告掲載料など
模擬試験関連収入	6,864,000	6,064,960	-799,040	模擬試験問題冊子販売収入 3466部 (¥1,600+税¥160=¥1,760)
事業活動収支計	20,744,000	20,470,644	-273,356	
2. 事業活動支出				
事業費支出	13,683,435	14,501,152	817,717	
教育講演料	100,000	32,274	-67,726	教員研修会、地区部会セミナー等講師謝礼及び交通費
教育普及活動	5,400,000	5,888,249	488,249	模擬試験問題作成費、印刷、配送料、模試作成料、校正料、臨地実習施設検索システム費・臨地実習生ポスター費
臨地実習指導者講習	383,435	383,435	0	臨地実習指導者講習会運営経費
学術大会開催	6,300,000	6,679,194	379,194	第19回学術大会開催
学会誌出版	1,500,000	1,518,000	18,000	学会誌電子化編集費 17巻2号、18巻1号
管理費支出	7,477,972	6,061,733	-1,416,239	
広告宣伝費	3,100,000	2,163,480	-936,520	Webサイト管理(月額)¥44,000×12=¥528,000、サーバー費用、ドメイン費用1年分¥68,530 協議会ホームページリニューアル作業¥1,566,950
印刷費	50,000	0	-50,000	協議会名入り封筒印刷、役員名刺印刷等
租税公課	80,000	68,000	-12,000	法人登記変更費用
接待交際費	50,000	2,852	-47,148	慶弔費、手土産など
通信費	150,000	203,660	53,660	協議会用携帯電話使用料、インターネット使用料、郵便切手、宅配便送料
会場費	50,000	0	-50,000	R7度国試問題検討委員会施設使用料
消耗品費	100,000	39,429	-60,571	文具類、印刷用インク、事務用器材等
行事費	230,000	127,500	-102,500	理事・各種委員会委員日当
旅費交通費	150,000	309,990	159,990	理事、委員の交通費・宿泊費
会議費	147,972	147,972	0	Zoom会議契約料
頭彰費	150,000	104,660	-45,340	永年精励賞表彰状、送料
寄付金	0	0	0	
事務局運営管理費	2,600,000	2,332,620	-267,380	事務局人件費(アルバイト2名×12か月+交通費)、事務局賃料、レンタル倉庫代、会議室使用料
雑費	550,000	491,570	-58,430	税理士顧問料、振込手数料、ネットバンキング使用料
法人税等	70,000	70,000	0	東京都法人住民税均等割
事業活動支出計	21,161,407	20,562,885	-598,522	
事業活動収支差額	-417,407	-92,241	325,166	
II. 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
出資金収入	0	0	0	
受取利息	17,004	60,547	43,543	
財務活動収入計	17,004	60,547	43,543	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	17,004	60,547	43,543	
III. 予備費支出				
当期収支差額	-400,403	-31,694	368,709	
前期繰越金	32,244,246	32,244,246	0	
次期繰越金	31,843,843	32,212,552	368,709	

第三号議案 令和7年度監査報告

伊藤監事より、令和7年度の監査について以下の説明があり、審議後に承認された。。

## 監査報告

一般社団法人

日本臨床検査学教育協議会

理事長 坂本 秀生 殿

定款第3章第13条5および会計規程第6章36条の規定に基づき、  
令和7年度の会計帳簿および事業報告の内容を監査した結果、会計  
は正確に処理されており、また会務は適正に運営されていることを認  
めます。

令和8年5月1日

監事

伊藤 昭三



監事

原田 典明



#### 第四号議案 令和8年度事業計画案

小野川常務理事より、以下の令和8年度事業計画と説明があり、審議後に承認された。

文部科学省、厚生労働省、日本臨床衛生検査技師会をはじめとする関連学術団体、臨床検査業関連との連絡・協議をする。会員校との意見交換や相談などに対応する。

また、日本臨床衛生検査技師会との合同事業である臨地実習指導者講習会の継続と、臨地実習指導者育成協議会に参画することでよりよい臨地実習の環境づくりを目指していく。さらに、臨床検査学の啓発とさらなる教育力向上を目指して、日本臨床検査学教育学会、編集委員会、研修委員会、学術委員会、国家試験対策検討委員会などの活動を通じて調査研究を行う。

今後減少が見込まれる入学生への対応が求められる中、臨床検査技師を目指す学生の確保に向けた各種イベントへの参加などの広報活動も継続して行う予定である。

令和8年

5月11日：第1回理事会：Zoom会議

5月25日：令和8年度定時総会：Zoom会議、令和9-10年度役員選考委員会発足

8月26日：日本臨床検査学教育学会 学術理事会、第2回理事会：九州大学 対面、Zoom併用予定

8月27日-28日：第20回日本臨床検査学教育学会 学術大会：九州大学

8月27日：日本臨床検査学教育学会 学術評議員会、学術総会：九州大学 対面、Zoom併用予定

9月：教員研修会

11月下旬：理事長選挙（予定）

11月30日：第3回理事会：Zoom会議、

12月14日：令和8年度臨時総会：Zoom会議

3月：教員研修会

（事業予定）

- ・機関誌「臨床検査学教育」発刊（編集委員会）
- ・加盟校学生向け国家試験模擬試験問題の作成（国家試験対策委員会）
- ・臨地実習指導者講習会の日本臨床衛生検査技師会との合同運営
- ・臨地実習施設検索システムの運用
- ・臨床検査技師を目指す高校生の確保に向けた各種イベントへの参加
- ・協議会ホームページの運営

（その他）

- ・「学術会員登録名簿」の管理（各校への配布は行わない）。

第五号議案 令和8年度予算案

小野川常務理事より、以下の令和8年度予算案と説明があり、審議後に承認された。

令和8年度 予算計算書

自 令和8年4月1日 至 令和9年3月31日

(単位 円)

勘定科目	R7年度決算額	R8年度予算額	差引	備考
<b>I. 事業活動収支の部</b>				
1. 事業活動収入				
一般会費収入	7,510,000	7,650,000	140,000	会員校104校+前年度未納1校、賛助会員3社
雑収入	1,319,169	1,500,000	180,831	印税、看護協会Will手数料他
学術学会関連収入	5,575,000	4,800,000	-775,000	参加費、寄付金、広告掲載料など
模擬試験関連収入	6,064,960	6,160,000	95,040	模擬試験問題冊子販売収入 3500部の見込み (¥1,600+税¥160=¥1,760)
事業活動収支計	20,469,129	20,110,000	-359,129	
2. 事業活動支出				
事業費支出	14,501,152	13,896,935	-604,217	
教育講演料	32,274	100,000	67,726	教員研修会、地区部会セミナー等講師謝礼及び交通費
教育普及活動	5,888,249	5,000,000	-888,249	模擬試験問題作成費、印刷、配送料 模試作成料、校正料、臨地実習施設検索システム費
臨地実習指導者講習	383,435	96,935	-286,500	臨地実習指導者講習会運営経費
学術大会開催	6,679,194	6,800,000	120,806	第20回学術大会開催
地方部会開催	0	400,000	400,000	1支部¥80,000×5支部
学会誌出版	1,518,000	1,500,000	-18,000	学会誌電子化編集費 18巻2号、19巻1号
管理費支出	6,061,733	5,419,702	-642,031	
広告宣伝費	2,163,480	741,730	-1,421,750	Webサイト管理(月額) ¥44,000+ ¥57,200×11= ¥686,400、サーバー費用、ドメイン費用1年分 ¥68,530
印刷費	0	50,000	50,000	協議会名入り封筒印刷、役員名刺印刷等
租税公課	68,000	0	-68,000	法人登記変更費用
接待交際費	2,852	50,000	47,148	慶弔費、手土産など
通信費	203,660	200,000	-3,660	協議会用携帯電話使用料、インターネット使用料、郵便切手、宅配便送料
会場費	0	0	0	R8度国試問題検討委員会施設使用料
消耗品費	39,429	100,000	60,571	文具類、印刷用インク、事務用器材等
行事費	127,500	260,000	132,500	理事・各種委員会委員日当、オンライン選挙経費
旅費交通費	309,990	500,000	190,010	理事、委員の交通費・宿泊費
会議費	147,972	147,972	0	Zoom会議契約料
頭彰費	104,660	150,000	45,340	永年精励賞表彰状、送料
寄付金	0	0	0	
事務局運営管理費	2,332,620	2,600,000	267,380	事務局人件費(アルバイト2名×12か月+交通費)、事務局賃料、レンタル倉庫代、会議室使用料
雑費	491,570	550,000	58,430	税理士顧問料、振込手数料、ネットバンキング使用料
法人税等	70,000	70,000	0	東京都法人住民税均等割
事業活動支出計	20,562,885	19,316,637	-1,246,248	
事業活動収支差額	-93,756	793,363	887,119	
<b>II. 財務活動収支の部</b>				
1. 財務活動収入				
出資金収入	0	0	0	
受取利息	60,547	60,547	0	
財務活動収入計	60,547	60,547	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	60,547	60,547	0	
<b>III. 予備費支出</b>				
当期収支差額	-33,209	853,910	887,119	
前期繰越金	32,244,246	32,211,037	-33,209	
次期繰越金	32,211,037	33,064,947	853,910	

## 第六号議案 校名変更

坂本理事長より校名変更につき申請書類と共に説明があり、審議後に承認された。

校名の変更      新校名：日本栄養大学 栄養学部 保健栄養学科  
                    旧校名：女子栄養大学 栄養学部 保健栄養学科

---

## 第七号議案 委員会委員

地区部会委員会担当の石岡理事より、令和7-8年度の委員へ1名の追加推薦があり、審議後に承認された。 ※委員名簿は議事録で公表しないが、事務局にて保管。

---

## 第八号議案 機関誌投稿規定

編集委員会担当の多田理事より、機関誌「臨床検査学教育」への投稿規定改訂および改訂に伴う投稿論文チェックリスト(自主投稿論文用)の提案があり、審議後に承認された。

1. 投稿規定の改定：現投稿規定は機関紙がPDF化前の内容であり、PDF化に対応した内容へ改訂。
  2. 投稿論文チェックリスト(自主投稿論文用)の採用：現投稿規定に倫理審査に関する記述が無く、差し戻す案件が散見される。その対応として投稿前に自己確認を行えるよう、投稿論文チェックリスト(自主投稿論文用)を作成し、ホームページからダウンロード可能とする。
- 

## 第九号議案 共催依頼 日本臨床化学会年次学術集会

科目別分科会にて臨床化学分科会会長担当の石井理事から、第66回日本臨床化学会年次学術集会にて、学生シンポジウムの共済シンポジウムへの依頼について、説明があり、審議後に共催が承認された。

坂本理事長から日本臨床衛生検査技師会 支部学会を担当する都道府県臨床(衛生)検査技師会主導により開催する「中高生進路支援ガイダンス」共催について説明があり、審議後に共催が承認された。

---

## 第十号議案 令和9-10年度役員選考委員会

現在の役員の任期満了(令和9年度 定時社員総会の終結時まで)に伴い、次期役員選考のため組織運営規定第7条に基づく、役員選考委員会を立ち上げることにつき、小野川常務理事から説明があり、委員候補者が示された。

---

## その他の議案

なし

以上、予定していた報告及び審議事項を終え、Zoomでも滞りなく理事会を進行できたことを確認し、14時35分に終了した。

令和8年5月18日

代表理事(理事長) 坂本秀生 印